

〔科目名〕 地域企業論 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 生田 泰亮 IKUTA Yasuaki	〔オフィス・アワー〕 時間: メールか直接アポイントメントを 場所: 1305 研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>「地域に根ざした企業の経営を学ぶ」が本講義のテーマである。地域企業論 I では「地域と企業の基本的関係」「企業の構造と機能」「地域の産業構造と事業戦略」を理解するための基本的な概念枠組を学ぶ。また事例を紹介しながら「地域で企業を経営する」ための基礎的な知識や理論、昨今の地域と企業に関する動向を学ぶ。</p>		
〔授業科目群・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>複眼的思考を身につけなければ、地域のビジネス・リーダー、コミュニティ・リーダーとして活躍することは難しい。本講義は、1 年次で学んだ内容を基本としつつ、多くの選択必修科目と関連性のある「総合的な科目」「中核的な科目」であると認識してほしい。本講義で新たな知見を得るとともに、これまで学んだ講義の復習であり、これから学ぶ講義にとっては予習となることが多々あるだろう。関連づけ、反復することで「有効な思考法」として身につく。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 地域企業論 I, II の両講義を通じて、以下のような目標とする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域の経済、産業、市場、企業の動向を理解するための専門用語を理解し「基礎知識」を身につける。 (2) 地域企業がおかれた社会、市場、産業などの「環境分析」のための基本的な理論を身につける。 (3) 地域企業の経営政策、事業戦略についてケース・スタディを行い、その成果として「問題解決策の立案」としての「戦略策定」や「政策提言」ができる。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 シラバスに記載し、講義中にもお伝えしている事項について、十分に理解されずに受講し、評価アンケートに回答している方が見受けられます。履修されるか否かは、シラバスをよく読み、初回の講義での説明をよく聞き、よく検討し、ご理解いただいた上で決めてください。履修した以上は、しっかりと復習、学習をしてください。努力せずに単位取得したいと考えている方は履修されない方がよいかと思います。受講態度の悪い学生(遅刻、欠席)、周囲の迷惑(私語等)になるような行為には厳しく対処します。わからないこと、相談等は、講義中、講義終了後、オフィスアワーなど、遠慮なく。		
〔教科書〕 ・なし。毎回資料を配布。		
〔指定図書〕 <ul style="list-style-type: none"> ・三戸浩、池内秀己、勝部伸夫『ひとりで学べる経営学 (改訂版)』文真堂、2021 年。 ・塩次喜代明、高橋伸夫、小林敏男『経営管理 [新版]』有斐閣、2009 年。 ・M.E.ポーター著、竹内弘高訳『競争戦略論 (I) (II)』ダイヤモンド社、1999 年。 ・O.E.ウィリアムソン著、浅沼万里、岩崎晃訳『市場と企業組織』日本評論社、1980 年。 その他、適宜指示、紹介する。		
〔参考書〕		
〔前提科目〕 「経営学基礎論」を履修し、単位取得していること。また「有効な思考法」を身につけるためには、経済学、財務分析などの基礎知識も必要となる。関連する科目を履修している、あるいは今後の履修科目について計画的に考えたうえで、履修することを強く推奨する。特に秋学期の地域企業論 II を受講することも念頭に本科目を受講することを強く推奨する。		

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>理解度テスト (20%) 第7回講義日に実施する。 課題レポート (30%) 複数回実施する。 学期末の定期試験 (50%) ※詳細は講義内で説明する。 ※講義進行の妨げとなる行為があり、注意を聞き入れない場合は、当該学生の本科目の評価を「F」とする。 無断欠席や課題レポートの未提出については、評価において大幅に減点する。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>80%以上 A 79-70% B 69-60% C 59-50% D 49%以下 F</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>ポイントを絞りつつも他の科目内容との関連性をしっかりと解説し、他の専門科目と関連付けて深く学ぶ動機づけになるように心がけたい。 毎回のテーマ、キーワード、問いやトピックに対して、疑問を持って講義に臨んでほしい。</p> <p>秋学期の地域企業論Ⅱでは『中小企業白書』を取り上げ、統計データの分析、地域における企業経営に関するケース・スタディ等を行う。こうしたことを通じて、地域企業を取り巻く環境分析、最新の動向を読みとく力、企業経営における戦略策定、地域産業への政策提言を行う力を身につけることを期待している。そのためには、地域企業論Ⅰでの学習内容が基礎となるので、この点も留意して履修してほしい。</p>	
<p>〔実務経歴〕 該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ (何を学ぶか) : イントロダクション 内 容 : 講義内容と進め方について (※講義についての説明を行うのでシラバス持参のこと)</p>
第2回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 現代社会における地域と企業 (1) 現状と課題の概観 内 容 : 地域社会に与える企業の影響を考える。 なぜ、ねぶた祭りに企業は協賛するのか?</p>
第3回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 現代社会における地域と企業 (2) 基本概念の整理 内 容 : 経営経済学的な「地域社会」の理解 (地域、市場、産業、政府・自治体、企業、個人)</p>
第4回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (1) 地方と都市と企業の歴史的考察 内 容 : 農村社会と近代都市、工業都市をキーワードに コミュニティとアソシエーション、2つの原理とその重層性について学ぶ</p>
第5回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (2) われわれの生活と地域、企業 内 容 : 人口問題を中心に地域社会と企業を考える。「極点化社会」「表日本と裏日本」</p>
第6回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (3) 現代のコミュニティ問題と地域企業 内 容 : 労働、雇用機会の変容、地域社会を支える企業、業種転換・市場拡大を試みる中小企業</p>

第7回	<p>テーマ（何を学ぶか）：理解度テストと前半のまとめ</p> <p>内 容：講義時間内に基礎知識の定着のために理解度テストを実施する。前半のまとめを行う。</p>
第8回	<p>テーマ（何を学ぶか）：企業の構造と機能（1）企業の成長・発展段階、企業の存在意義の変容</p> <p>内 容：経営体として企業を理解するための基礎的概念(企業、経営、事業)を学ぶ</p>
第9回	<p>テーマ（何を学ぶか）：企業の構造と機能（2）様々な企業観と企業の種類</p> <p>内 容：経済学的、経営学的な企業観、法的制度としての企業、その種類について学ぶ</p>
第10回	<p>テーマ（何を学ぶか）：企業の構造と機能（3）利益から考える企業の存在意義</p> <p>内 容：財務会計学的な企業理解、「利益」の現代的意義(マルクス、ウェーバー、ドラッカー)</p>
第11回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（1）資源、技術、商品、市場からの環境分析</p> <p>内 容：経営資源や技術、商品、市場の観点から事業を考える。</p>
第12回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（2）産業の立地条件</p> <p>内 容：M.E.ポーターの理論を中心に、競争要因、競争優位性、産業の立地条件を学ぶ。</p>
第13回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（3）企業間関係論、戦略的提携の視点</p> <p>内 容：産業構造を理解するために、組織間関係の理論（企業集団、系列化、戦略的提携）を学ぶ。</p>
第14回	<p>テーマ（何を学ぶか）：事業論（4）競争のない新たな市場開拓 ブルー・オーシャン戦略</p> <p>内 容：競争市場から独自の新たな市場空間を目指すための諸概念を学ぶ。</p>
第15回	<p>テーマ（何を学ぶか）：春学期全体の振り返りとまとめ、秋学期に向けての課題</p> <p>内 容：</p>
試験	